

高齢者のくらしを支える
リハビリテーションの在り方
(案)

平成16年1月

高齢者リハビリテーション研究会

目次

I	はじめに.....	1
II	高齢者リハビリテーションの現状.....	3
1	高齢者リハビリテーションの歩み.....	3
	(1) わが国における高齢者リハビリテーションの歩み.....	3
	(2) 国際的な動向.....	8
2	高齢者の状況.....	11
3	サービスの実施状況.....	14
	(1) 予防.....	15
	(2) 医療.....	19
	(3) 介護.....	24
	(4) 地域リハビリテーションの支援体制の整備.....	29
	(5) リハビリテーション専門職等の現状.....	30
III	高齢者リハビリテーションの課題と目指すべき方向.....	34
1	介護保険制度施行後見えてきた課題.....	34
	(1) 死亡の原因疾患と生活機能低下の原因疾患とは異なる.....	34
	(2) 軽度の要介護者の急増.....	35
	(3) 介護予防の効果があがっていない.....	42
	(4) 脳卒中モデルでは対応しきれていない.....	44
2	3つのモデルに応じた対策が必要.....	45
3	廃用症候群の対策の重要性.....	47
4	生活を支えるという目標.....	48
5	個別的、総合的なサービスの提供.....	49
6	評価に基づく計画的な提供.....	50
7	地域で提供できる体制の整備.....	50
	(1) 地域資源の確保.....	50
	(2) 連携、分担.....	51
	(3) 国民にサービスの所在がわかるシステム.....	51
8	質の確保.....	52
9	基盤の整備.....	52

IV 現行サービスの見直しへの提案	54
1 予防	54
2 医療・介護におけるリハビリテーション	57
(1) 医療保険におけるリハビリテーション	57
(2) 介護保険におけるリハビリテーション	57
(3) 入院(所)におけるリハビリテーション	58
(4) 訪問リハビリテーション	58
(5) 外来・通所リハビリテーション	59
(6) ショートステイ(短期入所療養介護)	60
(7) 環境	60
(8) 各種サービスの総合的な提供	62
3 地域リハビリテーションシステム	62
(1) 情報と連携	62
(2) システム	63
V 必要な基盤整備	65
1 目標の設定	65
2 サービス提供拠点の整備	68
(1) 早期リハビリテーション提供体制の拡充	68
(2) 早期リハビリテーションに続くリハビリテーション提供体制	69
3 人材育成	71
4 研究	71
5 その他	72
VI 国民と専門家に求められること	73
1 かかりつけ医	73
2 介護支援専門員	73
3 専門職	74
4 国民	75
VII おわりに	76